

平成 28 年度 新潟県小中学校 P T A 連合会 第 2 回理事会 議事録

日 時：平成 28 年 11 月 12 日（土）13：00～14：00
会 場：新発田市立外ヶ輪小学校 3 階 合同学習室
参加者：役員 5 名、監事 2 名、理事 27 名

1 開 会

事務局

2 会長あいさつ

平石会長

皆さんこんにちは。理事会も 7 月以来となりますが、日 P 新潟大会の実行委員会、県 P 連研修会もあったので、久しぶりの感覚がありません。11 月に入り急に寒くなってきて、今年も終わりかなと思っております。県 P 理事会も今年最後で、皆さんから忌憚のないご意見をいただければと思います。

9 月には、魚沼市で素晴らしい県 P 研究大会がありました。富永会長、ほんとうにお疲れ様でございました。そして、ありがとうございました。その後は、茨城県で関ブロ研究大会があり、多くの方にご参加いただきました。来年の関ブロは、群馬県高崎で行うということで、その P R を見られた方もいらっしゃると思います。次年度の大会の関係者が P R をしますので、来年は、新潟での関ブロと日 P 大会の P R を兼ねて、皆さんで高崎の方にお邪魔したいと思っております。

本日の理事会は 1 時間程度しかありませんが、その後、教育問題委員会の研修会もあります。新発田市 P 連の安田会長と県 P 連の板倉副会長にお世話になりまして、懇親会もあるということで、新発田の地を楽しみたいと思っております。

今日は、安全互助会より廣上理事長にお越しいただいております。先日の互助会の会議で、県 P 連が「24 時間総合補償制度」の保険を P T A 会員の皆さんにまだまだお伝えしきれていないという反省を踏まえまして、廣上理事長よりお話しいただければと考えております。今日は最後まで、よろしく願いいたします。

<新発田市 P 連 安田会長 あいさつ>

新発田によくお越しくございました。皆さんありがとうございます。後ろの方にパンフレットを並べてあります。休憩時間等に見てもらえたら、新発田のアピールになると思いますので嬉しいです。今日は、懇親会まであります。新発田の経済効果を上げるためにご協力いただけたら幸いです。

3 協議事項

議長 板倉副会長

(1) 県 P T A 安全互助会について

廣上理事長

—要項 1～3 ページ参照—

—別紙資料（郡市別加入状況） 参照—

皆さんこんにちは。要項の 2 ページ目を見ていただきたい。皆さん、P T A が何で共済事

業をやっているのか、PTAでどうしてお金がかかるのかと思われると思います。

皆さんの自治体の中には、PTAに対して、かなり手厚く助成をしているところがあると思います。長岡市のように、大きいと事務局を置くなどしています。単Pでは、行動範囲が狭く、学校で印刷等をしているので、ほとんどお金はかかりません。県P連は長い間、県と交渉をしてきましたが、現在の補助金は20万円程です。事務局の場所については、県P連に貸すと他の団体にも貸さなくてはいけないとのことで、商工会館に家賃を払っています。人的支援については、基本的に支援がなく、県P連の事務局長は退任された校長先生方から来ていただいております、事務員についても会で雇っています。ボランティアではないので、お金がかかることを認識していただきたい。自主財源でやっており、県P連は、皆さんの会費プラスαしかないことを分かっていたいただきたい。

元々は、昭和53年に共栄火災さん、コーリンさんを中心に「新潟県PTA活動補償制度」という保険事業を始めました。PTA活動補償制度を当時180円の会費で、会員数20万人弱の掛金と、「総合補償制度」を合わせた掛金の5%が、事務手数料として県Pに入ってきました。他に広告宣伝費が、その年によって違いはありますが、当時は現在の何倍ものお金が入って来ていました。

しかし、平成16年度に保険事業について課税対象となりました。また、保険会社からの広告宣伝費の扱いも変わって収入が極端に減り、運営が厳しくなりました。そこで、共済事業とし、自主運営で「新潟県PTA安全互助会」を設立しました。収益を加入者に恩恵があるように、①30円を還付してPTA活動補償制度の会費を180円から150円に減額し、②県P連への助成金、③積立基金としました。これにより、県P連の活動に大きく寄与することとなりました。

平成18年度には無認可での共済事業が認められなくなり、「特定保険業者」として認定されたという経緯があります。

—要項1ページ参照—

会員の減少は避けて通れないもので、PTA活動補償制度の助成金は、生徒の減少により減っています。総合補償制度では、加入者が1万人を割ると51%の割引率を得られないので、新潟市P連は独立したけれど、保険事業だけは一緒にやってもらいたいということで、現状に至っています。しかし、このままで加入者が1万人を割ると割引率が落ち、加入率もどんどん落ちていくので、どうしたらいいかということで、申込書を配る時期を変えたり、案内用封筒を変えたりといろいろやってきました。

—別紙資料（郡市別加入状況）参照—

県P連は、少子化と新潟市P連の独立により財政がひっ迫したのは事実であり、堀川前会長、平石会長ほか役員の尽力により県P連の会費を100円にしました。互助会では、今まで事故が少なかったこともあり、準備金として500万円を前倒しで積み立てているので、その時々の子供と保護者に還元するべきであろうと考えています。お金を貯めることが目的で共済事業をやっているわけではないが、このまま手をこまねてはいられません。ではどうするか。保険の勧誘をしてもらう必要はありませんが、「24時間総合補償制度」のパンフレットをきちんと配っていただき、保護者一人一人に判断していただきたい。案内文書が配られていない学校があるのも事実であるので、配っていただき、知っていただきたい。

24時間総合補償制度は、いい保険であると思います。兵庫県の自転車事故では、加害者が

自己破産し、被害者は自分の加入していた保険での補償しかなく、泣き寝入りとなりました。24時間総合補償制度に入っていれば、子どもさんが車を傷つけた・ガラスを割った等の時に、年間3,000円の保険で2,000万円までの賠償となるいい保険であると思います。

県P連は、ボランティアでやっていけることではありません。事務局の家賃も水道光熱費もかかるし、理事会での交通費などもかかっています。互助会も交通費はもらっていますが、理事長だからと給料はもらっていないし、会費だけの予算組の中では足りていません。ですから、共済事業をなくすわけにはいかないのです。

29年度に、各郡市P連の加入掛金の内、事務手数料として8～10割を各郡市P連に返す案を1年やってみることを互助会の理事会に提案したいと考えています。

事務局：理事会要項1ページ参照。互助会よりたくさんの助成金をいただいていたことがお分かりいただけたと思う。県P連の研究推進事業費は一律5万円を郡市P連に助成しているが、それも互助会からの助成金を配分している。その一律の助成金を無くして、総合補償制度の事務手数料のみとすると配布資料の金額となる。

理事会要項1ページで太字にしている部分は大事なことであり、危機感を持ってもらいたい。

24時間総合補償制度は、来年度も割引率が51%に確定したが、29年4月の加入者数が1万人を切ると、30年度は51%の割引率が適用されなくなり、下がる。

24時間総合補償制度の資料の配布は、小学校1年生は1月の中旬に、それ以外の学年と中学校には4月に各学校に届くので、配るように伝えてほしい。

「安全普及啓発活動等事業助成金」について、申請に偏りがあり、同じ学校、同じ郡市が何回も申請を上げて来て助成している。多くの学校、多くの郡市に利用してほしいので、来年度は申請回数に制限がつくかもしれないことをご了承いただければと思う。

～～質疑：応答～～

南蒲原：代理で来ております。昨年度理事をしておりましたので、廣上理事長からお話を聞かせていただいて、仕組みを分かっています。南蒲が、一番事務手数料が減っており、お話を聞いた段階で非常に恵まれていたと理解をしておりました。

昨年、学校に戻った時に、「うちの単Pでは間違いなくやっているが、こういったメリットがあります」という文書を出し、「金銭的な部分で郡市P連の事務局の方にも来ていたようですが、よろしく願います」というお願いはしていた。しかし、2016年の資料を見るとまだまだ恥ずかしく、まだまだケアが足りなかったと反省している。

この資料について回収となっているが、昨年度の最後の理事会で、8月末の資料を配っていただけないかとの問い合わせに対して、問題ないと言ってもらっていたと思う。

実際に数字が書いてある資料を基に話をすると、各単Pの方たちも危機感がわくと思う。単P毎の数字も出していただけると実感がわくので、回収ではなく、配っていただきたいと希望したい。危機感を持ってもらうには、必要であると思うので、お聞かせいただきたい。

事務手数料の金額及び加入率をどのように、問い合わせればよいのかを決めていただきたい。

廣上：前回そのように話したが、新潟市P連や他郡市P連のデータ（金額）が入っているので、回収させていただきたいということである。県P連事務局に問い合わせさせていただきたい。

事務局：保険会社との関係もあるので確認をし、お出しできるものは出したいと思う。各郡市P連の事務局から県P連事務局に問い合わせてもらいたい。

廣上：1月21日に互助会と県P連の理事会があります。そこで県P連の理事さんからオブザーバーとして、議決権はありませんが、意見を言う機会を設けますので、いろんな疑問等を言っていただけたらと思います。今日は、ご清聴ありがとうございました。

(2) 中間会計監査報告

① 要項4～5ページの収支決算書について説明

事務局

② 中間会計監査報告

加藤監事

11月5日10時より県P連事務局において、加藤、石田、森の3名で4月1日から9月末現在の会計収支等について、中間監査を行いました。通帳、各帳簿資料等は適正に処理されていたことをご報告いたします。

運用面で、郡市P連の助成金の状況等、また、収支全体の枠中で予備費が概ね5%前後位で推移するように、来年度以降しっかりと予算組等をしていただいきたい。

財産目録を皆さんあまりご覧にならないと思います。「退職金積立」については、問題ないと思います。「県P運用金」が230万円程ありますが、これは会費収入が入ってくるのが6～7月で、4～5月に200万円ほど出ていく。今のところ県P運用金として予備費が200万円以上あるので、会としてはお金が回るが、今後毎年2,000人程減っていくと、会費の全体枠が減ってくる。予備費が少なくなってくると、帳簿上は収支できているが、一時的にお金が回らなくなることがあるために、県P運用金が設けられている。そういった使い方をしていただくことを皆さんにも確認していただきたい。

互助会さんとの関係もありますので、皆さんでしっかり見ていただくことによって、今後10年間会費を変えないでできる部分と、また、場合によっては見直す時の積算根拠となりますので、皆さんからの把握とお気づきの点やご意見があればお聞かせいただければと思います。

(3) 「日P新潟大会」について

事務局

—要項6～9ページ参照—

・9月の第1回実行委員会の後、それぞれの部・分科会等で決めて進めていただいている。決定事項、検討されている事項は、12月10日の実行委員会で承認となるが、ご報告させていただきます。

・10月5日に日Pへ打合せに行ってきた。佐渡会場について①カーフェリーの時間を考慮し、日程（時間）を調整していただきたい、②移動時間を少なくできる、港の近くの会場に変えていただけないか、と佐渡の方で調整・検討していただいているところである。

・全体会の後の関東ブロック大会（表彰式がメイン）の日程を付け加えてある。

・日Pより、実行委員会に行政の担当の方も入っていただいた方がよいと助言をいただいたので、検討していきたい。

- シンボルマーク
9月13日の審査会で、朱鷺をモチーフとしたシンボルマークに決定した。
- PRビデオ
日P新潟大会広報部から、分科会の主管郡市P連にPRビデオを作るための情報提供の依頼が行ったと思う。11月22日が締切りとなっているので、決まっているところを書いていただき、PRビデオに活かしていただければと思う。
- 旅行者（宿泊・輸送・受付システム等）
経費面、受付システムでQRコードを使うシステムの日本旅行にお願いしたいと考えている。
- 経費負担
県P連と新潟市P連で、会員数の割合に応じて、県P連：新潟市P連が2：1で負担する。
- 次期開催地としてのPR
29. 8. 25(金)・26(土) 日P仙台大会（宮城県仙台市） 10分科会＋全体会
29. 10. 21(土)・22(日) 関ブロ群馬大会（群馬県高崎市） 7分科会＋全体会
上記の日程で、新潟市P連と併せて100名程度の参加を予定している。
- 第2回実行委員会 平成28年12月10日（土）13：30～ エコスタ 第4会議室
11月14日（月）に案内を出したい。

(4) その他
なし

～～ 承認 ～～

4 報告事項・その他

(1) 各委員会からの報告

- 教育問題 内藤委員長
この後、教育問題研修会を開催させていただきます。お2人の講師をお招きいたしました。第1回、2回、3回と委員会で打合せをしまいいりしたが、今日が当日となります。次回1月の委員会において、今までと本日を振り返り、課題を検討したいと考えています。
- 広報 恩田委員長
今日の理事会前に、広報委員会で2月発行の広報紙紙面についての打合せをさせていただきました。9月に発行した、紙面が広がった第101号について、非常に読みやすく、手に取りやすいと、あちこちからお褒めの言葉をいただいております。ありがとうございます。これから、2月発行分の原稿依頼がそれぞれ出されるかと思いますが、ご協力いただきまして、また良い紙面にさせていただきたいと思っております。
- 組織検討 酒井委員長
9月に組織検討委員会研修会を開催させていただきました。今後、県の教育委員会とどう関わっていくか検討していきたいと思っております。

(2) 県P連 事務局員について

石井 9月30日付 退職

佐々木 10月1日付 採用 あいさつ

(3) 「熊本地震募金」 2,077,561円 (11月4日現在)

(4) 懇親会について

本日5時からの予定で、神前料理“豊谷殿”で行う。

(5) その他

なし

5 関係団体・委員・構成員会議・大会等参加報告

—要項10～13ページ参照—

魚沼市でも旅費の出ないたくさんの会議が開催されている。近隣の南魚沼郡市P連や十日町市津南町P連から応援に行っていただき、本当にありがとうございました。

6 監事講評

石田監事

監事の石田でございます。理事会、大変お疲れ様でございました。ほとんどの時間を安全互助会に費やしましたが、ぜひここにいる理事の皆さま、この「24時間総合補償制度」について、各郡市P連に戻り、説明をしていただき、各PTAの会長さんにもお話していただいて、入学してくる1年生の説明会で、会長さんが保護者さんに説明できるようなところまで進めていっていただきたいと思えます。

県P連事務局にぜひ問い合わせしていただきたい。自分達の郡市P連の中で加入が0という学校は、案内が配られていないと思われそうですし、1～2というところは、転校してきた方の数字であると思われるので、必ず配るという働きかけをお願いしたいと思います。

日Pの新潟大会ですが、私は広報部を担当しております。昨日、第1回目の部会がありました。いよいよだなと思っております。今年度中にPRビデオを完成させ、夏までに幟とかTシャツのデザインを検討していきます。

今日はこの後、研修会もありますので頑張ってくださいと思います。ありがとうございました。

7 閉会のあいさつ

齊藤副会長

互助会の資料を回収される前に、メモの方は終わりましたでしょうか。事務局に問い合わせれば、知ることが出来ます。各郡市P連で状況を把握していただければと思います。全て、石田監事が言われましたので、これにて第2回理事会を終了いたします。この後、研修会に入りたいと思います。よろしくお願いたします。